



104

第31号 2010年12月8日

お元氣ですか？ 小田啓二でした

〜今、伝えたいこと〜



先般、APEC首脳会議が横浜市で行われました。この会議を成功させるために

警察官を含め二万人体制で、周辺警備にあたり、会場付近の住民には、住民証明書、車両証明書が交付されるなど何年も前から準備が進められました。GAでは、市民のテロ対策研修会に招かれ、開催当日には横浜駅西口での特別パトロールを行いました。何も起こらないことを最優先の目標にして、あらゆる準備がなされたのです。APEC会議には世界の要人が集まり、テロや抗議行動などの脅威に対して警戒していましたが、GAの活動と重なる思いがありました。

私たちは、事故や犯罪が起こらない安全で安心な街であるように願いながら活動を行います。おそらく皆様も、GAが安心のシンボルとして頼られる存在であることを活動中にも自覚されていることでしょう。そのために準備は、万全に整えておく必要があります。

出るときに違う街、何もない平穏な日が多くても、起こるかもしれない対応への準備は行われているのだろうかと思いがちでした。シミュレーションとは、街で何かことが起きたときに、初めてだとは思えない対応をするために、想定しながら練習することです。慌てず冷静な対応が、怪我や危険に遭わない要素です。これが、安全性が高く質の良いGAのパトロールに通じてきます。

道を聞かれたとき、酔っ払いや徘徊少年への声かけ、EMS対応(※)、トラブルの仲裁や回避方法など、あらゆる場面を想定して練習をしてみましよう。同じ場所や

時間でも相手が変われば千差万別、多種多様です。練習はいくらか失敗してもかまいません。リーダーの役割、メンバーの役割、自分だったらどうするか？それぞれの立場になり実行していただきたいと思えます。いろいろな角度から意見を出し合い、相手の立場を知ることが活動の礎となるでしょう。

これから寒さに向かい街頭での活動には厳しさが増してきます。平素の皆様の活力とボランティア精神に感謝しつつ、くれぐれも体調管理には配慮しながら長く地域に貢献していただきたいと思えます。

理事長 小田 啓二

(※)救急隊員が、けが人や病人を搬送しやすように、誘導や人混みを整理するなどのサポートを行うこと。

HOW DO YOU FEEL?

千葉支部長 “JD”

〜エンジェル・オブ・ザ・イヤーを受賞して〜

前年度、最も活躍したメンバーに贈られるエンジェル・オブ・ザ・イヤー。二〇〇九年度、この賞に輝いた千葉支部長のJDにお話を伺いました。

1. エンジェル・オブ・ザ・イヤーを受賞して皆さんの支えなくては到底、有り得なかった受賞と思っています。

五年前、横須賀でライクからリクルートを受け、千葉支部所属後は初代千葉支部長のぎんからGAの在り方や考え、パトロールの基礎を教わりました。現副支部長のジョンは長らく続いた二人だけの千葉パトロールに多くの時間を提供してくれました。ランスが突如、夜の千葉に現れ、活動の模範を披露してくれたことがありました。同時にランスは「都内の支部(遠征し、武者修行せよ」と助言をしてくれました。その後、ガード、ライナー、そしてフォックスからパトロールの実践を学び、カルキとジンからは六本木で寝食を共にしながらストリートに生きる知性を学び

ました。ジョリーからは救う術を、アミールからは護る術を教わり、ローズとグレースからは規律を、ガンホーからはGAの普遍性を、タンクからはGAの偉大さを学び、ジョニーからはGA流のクールなベレーの被り方を授かりました。ウルトラをはじめとする埼玉エリアのメンバーからはイベントを通じて多大な協力を頂きました。特にスパイダーとは毎年、都内のお寺で一緒に新年を迎える仲間となりました。五年間、エイトにはいつも見守られて来ました。FKの皆さんに助けられたことは数知れず、チープやパンチ、そしてビデオやグリーンほか県内・支部内のメンバー達は仲間と言ふよりかけがえのない「ブラザー」だと思っています。

又、団体へ惜しみない努力と愛情を投入し、私たちGAを守り続ける小田代表からはいつも勇気を与えられます。ここで名前を挙げられなかった皆さんも大勢いますが、皆さんと名譽ある賞を分かち合いたいと思っています。どうも有難うございました。



2. 「ブライトのJD」と「GAとしてのJD」

職場ではかなり短気で怒りっぽい質で、恥ずかしながら、怒って声を荒げ、机を蹴飛ばすなんてこともたまにありました。ですから、勤務中はずっと「JD」を見習おうと努めています。反対に自身の仕事面の知識や経験が「JD」を助けることもあります。

「曲がったことが嫌い」「正義感が強い」「人助けが好きなこと」は自身とJDの両者が備えているものだと思っています。

仕事で気持ちが沈むと活動(向かう足取り)が重くなります。でも、いざパトロールを始めるとまじから元気を貰い、心が洗われ、はつらつとした気持ちで翌日に備えることが出来ます。GAの活動は仕事

に対する高いモチベーションを保つに必要不可欠なものです。

3. 活動中に気をつけていること

時として、憤りを感じたり、目を背けたくなる様なシチュエーションと遭遇したりしますが、それでも出来るだけそれらを明るく前向きに受け止め、対応して行く様、心掛けています。

又、決して諦めないことです。

4. 心に残っているエピソード

十代の頃のエピソードですが、自身の「生き方」に影響を及ぼした出来事がありました。

高校時代、いじめに遭っている友人を助けたことが発端で、校内で複数名を相手に大ゲンカをしてしまいました。乱闘の末、怪我を負った上にあやや放校処分という事態となりました。怪我が治って復学しましたが、先生方からは「トラブルメーカー」のレッテルを貼られました。ケンカ相手の仲間達には常にマークされる様になり、一部の友人達は巻き添えを恐れて離れて行きました。「人助けなんて意味が無い。もっと自分のことを考えるべきだった。」と思い始めた頃、いじめに遭っていた友人から手紙が届きました。手紙には「オレを助けてくれて本当に有難う。お前の様な奴が友達でいてくれてオレは幸せだと思ふ。」と記されていました。彼をいじめた生徒はいなくなりました。校内でトラブルを起こしたことは良くありませんでしたが、彼を助けようと行動したことには意味があったのだと感じました。

5. GAJでの今後の目標

先輩メンバー達が自身にしてくれたことを後輩メンバー達へしてあげたいと思います。

又、先輩方への恩返しもしたいです。





104

第31号 2010年12月8日

第一回 私のユニフォーム

～極寒の北海道では～

ガーディアン・エンジェルズといえば赤いベレー帽に白いTシャツ。…白いTシャツ、冬はどうしているの？ということ、極寒の札幌支部のメンバーにお話を伺いました。

札幌支部では、冬になると札幌支部特有のコヨーテジャケットを着用します。フードの周りにコヨーテの毛皮を使用しているもので、寒い札幌には最適です。活動時は周囲を警戒するため、フードは被りませんが、それでも耳元にコヨーテの毛が当たり、首から上が温かく、体もダウンで暖かいのです。しかし、困るのが地下街。札幌中心部には七百十二メートルの地下街がありますが、温かいコヨーテジャケットもここでは逆に「暑くて大変」です。脱いで手に持つことは活動の支障になるので、冬も地下街には入らず、雪降りしきる屋外での活動が中心となります。そんなコヨーテジャケットですが、寒い日には、中心部でも零下になる札幌では必需品です。



真冬の活動で、意外に盲点なのが靴です。最近では夏靴の上に取り付ける滑り止めもコンビニ等で扱うようになり便利になりました。有名な雪まつりのパトロールでは、圧雪の上を多くの観光客が歩くため、雪が融け、足を取られやすい状態になります。短いスニーカーでは雪が靴の中に入ってしまうので、ブーツや長靴の登場となります。このように札幌支部ではユニフォームに様々な工夫をし、冬の活動を行っています。是非一度、極寒の札幌を体験にいらして下さい。

札幌支部副支部長 エディ



GAのいる風景 ― 全国支部探訪記 第四回 福岡支部紹介

福岡市中央区天神の警固公園が深夜、若者らのたまり場となり、治安悪化を心配する声が上がっていました。

そこで福岡支部では、天神二丁目一区町内会長藤木敏一氏にご協力を頂き、今年三月、警固公園内に防犯や非行防止を目的とする防犯相談テントを設置しました。

活動日時は毎週金曜の午後七時から翌朝七時までで、主に若者が多く集まり、恋愛や仕事の相談、趣味の話などをし、週末の夜を過ごしています。

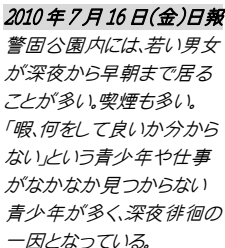
福岡支部長のダックは、警固公園の治安について「テント設置当初に比べ、落ち着いたと思う。いつも沢山の人が賑やかなテントです。」と嬉しそうに語る。

そんなGAメンバーは今週末もまた、天神の治安のため、若者のため、警固公園へと向かうのであります。

2010年5月7日(金)日報
来訪者であるスケートボーダーのシンくん、タイキくんが防犯相談テント撤収作業を手伝ってくれた。感謝!感謝!



2010年7月16日(金)日報
警固公園内には、若い男女が深夜から早朝まで居ることが多い喫煙も多い。『暇、何をしたいか分からない』という青少年や仕事が多量に見つからない青少年が多く、深夜徘徊の一因となっている。



2010年9月10日(金)日報
本日の警固公園は、大変賑わっていた。その賑わいが、防犯相談テント内でも見られた。若者と大人との交流の場所として機能をし、一般常識や社会のルールやマナーを知り得る場所となっている。



匿名通報ダイヤル

2010年、子どもや女性を守るための「匿名通報ダイヤル」では警察庁の委託を受けて、少年の福祉を害する犯罪、児童虐待事案、人身取引事犯等の子どもや女性が被害に遭う犯罪の情報をフリーコール及びインターネットにて匿名で受付けています。

◆子どもや女性を守るための「匿名通報ダイヤル」◆
0120-924-839 (受付時間: 平日 9:30~18:15)
<http://www.tokumei24.jp> (サイトが移転しました)

犯罪に巻き込むのも大人。犯罪から助けるのも大人。

匿名通報ダイヤル
0120-924-839
月～金 午前9:30～午後6:15
24時間オンライン受付
<http://www.tokumei24.jp> (サイトが移転しました)
情報料 通話 10円/分

日本ガーディアン・エンジェル DVD

T. G. I・point zero様のご協力のもと、日本ガーディアン・エンジェルズの活動風景や小田理事長のインタビューがまとめられているDVDが完成しました！ハリウッド映画を彷彿させるオープニング部分は、ホームページのトップページにて視聴できますので是非ご覧下さい。

www.guardianangels.or.jp

"Don't worry. We are here. GUARDIAN ANGELS"



ご寄附のお願い



ご協力の程よろしくお願ひいたします。

ゆうちょ銀行振替口座 00130 - 9 - 549237

または

三菱東京UFJ銀行 赤坂支店 普通預金 5190124

口座名義 特定非営利活動法人

日本ガーディアン・エンジェルズ

日本ガーディアン・エンジェルズは、国税庁から認定NPO法人(国税庁課法11-78)として認定されています。寄附金は、寄附金控除等の対象になります。

事務局だより

サービス・ラーニングとは、学生が大学の外の様々な機関・団体などで、一定期間の社会貢献活動等に参加することを授業として展開するもの。アメリカでは数多くの大学で導入されている体験型の教育プログラム。

昨年度に引き続き、本年度も夏から秋にかけての三カ月間、桐蔭横浜大学サービス・ラーニング実習生を受け入れました。二年生の四名に、防犯パトロールやイベントサポート、小学校での安全セミナーなどの活動を計三十時間体験して頂きました。

「何か不満があれば言ってね。」と声をかけたこともありましたが、彼らの返答は「次の活動も、皆さんにお会いできるのも楽しみです!」という嬉しい言葉ばかりでした。

そして、無事四名とも実習修了。夜間のパトロールや炎天下でのイベントサポート、慣れない土地での活動を本当によく頑張ってくれました。高い志を持った青年たちに、気付けば私たちも学ぶことが多かったように思います。ご協力頂いた関係者の皆様、メンバーの皆様、ありがとうございました。

写真は修了証を手にした学生たちです!

